

前立腺癌再発・転移診断における DWIBS の有用性に関する検討

1. 研究の対象

対象となるのは当科において前立腺癌の手術（前立腺全摘術）を受けられた後、腫瘍マーカーPSAの上昇がみられ再発が疑われた患者さん。また転移性前立腺癌と診断され、薬物治療を受けられている患者さんです。

2. 研究目的・方法

通常前立腺癌の患者さんには、再発や転移の診断のためCT、骨シンチグラフィ、PET/CT検査が行われます。しかし放射線被ばくや費用が高額になる問題があります。一方、DWIBS法を用いた全身MRIは、日本において多数施設で撮影可能で、比較的安価に全身の高感度な撮像が可能となります。

この研究では、従来のCT検査や骨シンチに加え、DWIBS法を用いた全身MRIを施行した患者さんのデータを用いて、撮影方法ごとの診断する能力を比較します。また、DWIBS法を用いた全身MRIがどのような状態の患者さんに有意義な検査であるかも、併せて検討します。今回100例程度の解析を行うことで、信頼性の高い検討が可能であると考えられます。

研究実施期間は倫理委員会承認日～2027年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、画像データ、手術病理結果、カルテ番号等です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学 医学部 泌尿器科学講座 研究責任者 島本力

TEL 088-880-2402 / FAX 088-880-2404

E-mail : urology@kochi-u.ac.jp